

湖国が滋る・水と緑の街づくり

月刊



2008/11
vol.154

平成 20 年 11 月 1 日発行 通巻 154 号
昭和 40 年 8 月 21 日第 3 種郵便物認可
発行/社団法人 滋賀県建築士会
〒 520-0801
滋賀県大津市におの浜 1-1-18 建設会館 3F
TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.biwa.ne.jp



滋賀のヴォーリス建築 〔第 14 回〕

安土郷土館

大正 2 年 安土町小中 191
木造 3 階建

旧住友財閥の総理事だった、伊庭貞剛の長男、慎吉氏のアトリエとして大正 2 年に建築された。この建物は、現存する木造のヴォーリス建築としてはかなり古く、貴重な建物である。また、貞剛が晩年を過ごした瀬田川を望む「住友活機園(野口孫市設計)」の影響を受けている所が垣間見られる。(写真:西村 勲)

CONTENTS

- ・ 研修旅行 2009 in 香港・マカオ…2
- ・ Do シリーズ No.50 記念研修会のお誘い PART II ……3
- ・ 『重要文化財明王院本堂ほか3棟保存修理事業』現場見学会のご案内
- ・ 住宅瑕疵担保履行法に伴う瑕疵担保責任保険の説明会についてのご案内…4
- ・ 「災害に備える・対応する」長島忠美先生特別講演会 参加報告…5
- ・ 第 3 回ゴルフコンペ事業報告
- ・ 第 3 回“そこが知りたい”大津塾…6
- ・ 支部だより…7
大津支部・湖東支部・湖北支部
- ・ 11 月の暦…8
- ・ 9 月の新入会員
- ・ 「建築士等を対象とした超長期住宅関連及び改正建築士法の概要について」の講習会にて提出のあった質疑に対する回答
- ・ 滋賀のヴォーリス建築

青年部会主催 研修旅行 2009 in 香港・マカオ

●研修の趣旨：西洋と東洋の出会いの街・世界遺産の街マカオで、机上や書物では感じ取れない450年の歴史とともに急ピッチで進んでいる都市開発の現状を肌で感じ、西と東・新と古の共存を学びたいと思いますので、皆様のご参加お待ちしております。



媽閣廟

●日 程：平成21年2月13日(金)～15日(日)

●募集人員：30人(会員及び会員家族)

●申込締切：平成21年1月10日(土) 定員になり次第締め切ります。

●参加費：会員 98,000円 非会員 108,000円
※大幅な為替相場の変動の際は料金が変更になることがあります。

●参加申込：下記の申込用紙にご記入の上、建築士会事務局までFAXして下さい。
FAX：077-523-1602 TEL：077-522-1615

※参加者の方には、後日詳細を郵送にてご案内いたします。

●スケジュール：

【香港・マカオ3日間】



聖ドミニコ教会

日次	地名	現地時間	交通機関	スケジュール・宿泊地	食事
13日 (金)	関西空港 大阪発 香港着	8:30 10:55 13:45	NH175 専用車	AM8:30 関西国際空港へ各自現地集合 関西国際空港から空路、香港へ 到着 滋賀銀行香港支店にて研修 レパレスベイ、文武廟など香港市内の見学 ホテルチェックイン 【香港 泊】	昼：機 夕：○
14日 (土)	香港発 マカオ着	朝	専用車 高速艇 専用車	ホテルにて朝食 ホテル出発 高速艇ジェットフォイルにてマカオへ 聖ドミニコ教会、慈悲堂、媽閣廟など見学 ホテルチェックイン レストランにて夕食 【マカオ 泊】	朝：○ 昼：○ 夕：○
15日 (日)	マカオ発 香港着 香港発 大阪着	午前 14:55 19:30	高速艇 専用車 NH176	ホテルにて朝食 ホテル出発 高速艇ジェットフォイルにて香港へ ショッピング&昼食(飲茶) 香港を後に空路帰国の途へ 到着 滋賀県到着 22:30～23:30頃	朝：○ 昼：○ 夕：×

※日程については多少変更になる場合があります。

青年部会・女性部会の参加案内事業についての共通申し込み用紙

青年部会主催 研修旅行2009 in 香港・マカオ 女性部会 Doシリーズ No.50回記念研修会

※お申し込みになる事業の方にチェックをつけて下さい。

お名前(フリガナ)	会社名	連絡先(TEL)	郵便番号・住所	支部名
-----			〒	支部
-----			〒	支部
-----			〒	支部

お申し込みはFAXにて・・・(社) 滋賀県建築士会 事務局 <FAX.077-523-1602> (お問い合わせは... TEL.077-522-1615)

Do シリーズ No.50 回記念研修会のお誘い PART II

先着順で締め切ります。
お申し込み
お急ぎください!

昭和のはじめに完成した「聴竹居」は、建築家藤井厚二氏が自邸として設計した実験住宅です。京大教授でもあった藤井氏は日本の気候・風土に適応した住宅のあり方を実証するため、大山崎の豊かな緑の中に実験住宅を次々と建てました。海外で住宅建築を学んだかれは、聴竹居で、和洋のデザインの融合と生活様式の統合を試み、この美しい名建築を完成させました。

そこには気候・風土と共生するためのさまざまな工夫が施されています。

今回の研修では、建物の保存活用のため、実測にあたられた竹中工務店の松隈章氏の講演と、現地でのご案内もあり、またとない機会です。

また大山崎山荘美術館本館は、実業家加賀正太郎氏が自らの山荘として設計し、建てたものです。山荘は大正時代に木造で建てられたのち、昭和初期に増築されました。

平成に入り、天王山麓の大規模開発が計画され、付近の環境破壊が心配されました。

天王山周辺地域の景観を保全したいという地元住民の声に答え、アサヒビールが山荘を保存し、美術館として活用することを提案。建築家安藤忠雄氏に山荘の修復、新館の設計を依頼しました。

晩秋の紅葉に染まる広大な庭園に点在する近代建築と現代建築の融合をお楽しみください。



聴竹居 H20.8



聴竹居内部のデザイン H20.8

●日 時：平成 20 年 11 月 22 日 (土) ●集 合：JR 山崎駅 10 時 集合 (網干行き快速 9 時 53 分着)

●スケジュール：

大山崎ふるさとセンター 講演会 = 昼食	JR山崎駅前 かわしま (四季懐石) = 「聴竹居」見学	大山崎山荘美術館 = 現地解散
10:30	13:00~	14:30~ 16:00

- 見学先：午前 大山崎町歴史博物館 (待庵の実物大展示)
講演会「日本の気候風土にあった住まいをめざして」
藤井厚二「聴竹居」の現代性について 講師 松隈 章氏 (竹中工務店設計部)
- 午後 聴竹居 <http://chochikukyo.com/>
大山崎山荘美術館 <http://www.asahibeer-oyamazaki.com/>
※昼食は山崎駅前 かわしまにて 四季懐石です。



大山崎山荘の庭園 H20.8

- 参加費用：会員 2500 円 会員外 4000 円 ※当日 持参
※当日キャンセルは参加費のご負担をお願いします。※当日の緊急連絡先 (090-3034-9054 田井中)
- 募集人員：30 名 (定員になり次第締め切り) ●申込締切：11 月 14 日 必着 ●CPD：3 単位
- 申込方法：2 ページ下の共通申込用紙にご記入の上建築士会事務局まで FAX して下さい。

予告 来春 1 月 20 日 プロカメラマン築地氏による「建築写真の撮り方実習」乞うご期待!

「公共建築の日」「公共建築月間」記念事業

『重要文化財明王院本堂ほか 3 棟保存修理事業』現場見学会

- 開催日：平成 20 年 11 月 22 日 (土) 9:45 および 14:15 (2 回開催)
- 場 所：大津市葛川坊村町 明王院
- 交 通：公共交通機関 江若バス JR 堅田駅発 坊村下車 徒歩 5 分
自家用車 大津市葛川市民センター前駐車場 徒歩 5 分
- 申込方法：事前申込が必要です。はがき・メール・FAX でお申込ください。
代表者氏名、連絡先 (住所、TEL)、希望時間、申込人数を明記してください。
定員は、各回、先着 30 名です (定員になり次第締め切ります)
- 申込・問い合わせ先：
〒520-8577 大津市京町四丁目 1-1 滋賀県土木交通部 建築課 営繕企画担当
E-mail: hb01@pref.shiga.lg.jp TEL: 077-528-4251 FAX: 077-528-4911
- 主 催：滋賀県、滋賀県教育委員会



明王院



とち 葺

住宅瑕疵担保履行法に伴う 瑕疵担保責任保険『まもりすまい保険』の説明会についてのご案内

(財)住宅保証機構
(財)滋賀県建築住宅センター

国土交通省より住宅瑕疵担保履行法に基づく保険法人の指定を5月12日に受け、それに伴い6月2日より瑕疵担保責任保険の業務を開始させていただいております。

この法律の施行に伴い平成21年10月1日以降に引き渡されるすべての新築住宅において、瑕疵の発生に備え、保険か供託による資力の確保が義務付けられます。

この説明会において「住宅瑕疵担保履行法」の概要ならびに、住宅保証機構の「まもりすまい保険」について詳しく説明させていただきます。

この機会に説明会を受講頂きますよう、お願いします。

- 開催日時：平成20年11月26日（水） 13：30～16：30（受付13：00より）
- 会 場：ピアザ淡海「ピアザホール」 大津市におの浜1-1-20 TEL：077-527-3315
- 講習内容：①住宅瑕疵担保履行法にかかる資力確保の義務化について
②住宅保証機構「まもりすまい保険」の概要について
③住宅建設の技術的課題「設計施工基準」について
④保証事故関係について
- 定 員：400名（先着順です。定員になり次第締め切ります。）
- 申込方法：下記の申込用紙に必要事項を記入の上、FAXして下さい。
- 申 込 先：財団法人 滋賀県建築住宅センター FAX：077-569-6561
- 申込締切：平成20年11月12日（水）

住宅瑕疵担保履行法に伴う瑕疵担保責任保険『まもりすまい保険』の 説明会申込用紙

申込日： 月 日

住宅瑕疵担保履行法及び 瑕疵担保責任保険説明会	日 時	平成20年11月26日(水) 13:30～16:30
	会 場	ピアザ淡海 ピアザホール(滋賀県立県民交流センター)

事業所名			
※事業者番号 (財)住宅保証機構の登録事業所の方は記入			
住 所	〒 -		
電 話		F A X	
受講者名	部 署		役 職

お申し込みはFAXにて…財団法人 滋賀県建築住宅センター <FAX.077-569-6561>
(お問い合わせ・連絡先は…(財)滋賀県建築住宅センター 性能審査部 TEL.077-569-6501)

2008年10月5日(日)開催 青年部主催事業 「災害に備える・対応する」長島忠美先生特別講演会 参加報告

長島忠美先生(元山古志村村長、現衆議院議員)は丁度、ポーチを小脇に抱えるように右腕を畳んでマイクを右腕の前にあて、時折左手に持ち替える以外は直立不動の姿勢で粛々と語り始められた。

2003年10月23日に発生した中越大震災。その発生当初の状況、夜明けとともに次第に判明していく壊滅的な山古志村の被害、苦渋の決断の後の全村避難、その避難に際しての新潟県、自衛隊等との折衝、不安に駆られる村民への配慮、一刻の猶予も許されぬ中で次々と迫られる首長としての判断、その後の村の復興への長い道程、建築に携わる者が講ずる対策や災害時の対応など、やはり粛々と淡々と語っておられた。起こったこととしたことを余計な修飾を付けず的確に真摯に話される長島先生に、気がつくと聴衆も私も固唾を呑んで聞き入っていたように思う。

私は阪神淡路大震災の際、遠隔の地で学生生活を送っており、大地震に遭遇していなかったが偶然にも中越大震災が起こったその時、新潟市内に居た。両方の地震に遭遇していないので単純に比較できるわけがないが、翌日(24日)の夜中でさえ、ほぼ1時間おきくらいに震度4~5の余震が起り、揺れによって柱と梁が軋む嫌な音を聞きながら枕元に置いた携帯電話のニュース速報を眺め、ほとんど眠れなかった。震源から数十キロ離れた新潟市近郊でライフラインが無傷な状態であっても不気味な余震に不安を感じずにはいられなかったのだから震源に近く、しかも停電で暗闇の中、一昼夜過ごさなければならなかった山古志村の村民の不安や恐怖は計り知れない。私は翌日の夕方、信越本線が不通になったため、急遽、空路で関西に帰ることになったが、新潟空港は自衛隊の救援ヘリが多数配備、展開され、けたたましいプロペラ音に緊迫した、事の重大さをあらためて実感させられた。

私が感じた緊迫感と比較にならない程の修羅場と化した山古志村で寝食を忘れ、村民を励まし、災害復興の陣頭指揮を執られていた長島先生のご苦勞やご苦悩は想像を絶する程、多く、深いものであったであろう。

滋賀県は地震や台風などの自然災害で大きな被害を被ったことが少ない。日本の各地で起こる災害には「対岸の火事」的な反応に陥りやすい。あらためて長島先生のお話を金言として肝に銘じておくべきではないかと思う。(青年部会 大津支部 炭本)



(社)滋賀県建築士会青年部会 第3回ゴルフコンペ事業報告

10月18日(土)に、第3回を迎えたゴルフコンペを、近江カントリー倶楽部にて開催致しました。初めてコースに出られた方からベテランの先輩の方々、賛助会員様を含め、27名の参加がありました。

当日は秋晴れの晴天に恵まれ、爽快な気分でプレーでき、またプレー後の成績発表を兼ねたパーティーでは、長い時間ではありませんでしたがお互いに交流の場として、親睦を深めていただき、有意義で楽しい一日を過ごせていただいたのではないかと思います。

参加された皆様、本当にありがとうございました。お疲れ様でした。

これを期に、次回開催の時は皆様のご参加を宜しくお願い致します。



第3回 ”そこが知りたい” おおつ塾

ホームライティング 連続セミナー

『住まいのあかり 設計のポイント教えます』

大津支部以外の方も
多数の御参加を
お待ちしております。

第2回 一室複数灯での手法

攻略編② 「住まいにおける建築化照明」

- 日 時：平成20年12月11日(木) CPD 2単位
- 定 員：先着順30名(定員になり次第締め切ります。) ●参加費：無料
- 会 場：大津市ふれあいプラザ4階 視聴覚室 TEL:077-527-8351
大津市浜大津四丁目1番1号(京阪『浜大津駅』から徒歩3分)
京阪『浜大津駅』から徒歩3分 ※駐車場有 90分無料(駐車券を会場までお持ち下さい)

今回は間接照明の
使い方教えます。



- 講 師：パナソニック電工(株)より講師の方をお招きします。
- 受付開始：19:00 *セミナー 19:30~21:00

■一室複数灯のあかり

- お施主様からのニーズが増えてきた間接照明。その究極となるのが建築躯体に組み込んだ建設照明。設計に当あつてのポイントや注意点をご紹介します。

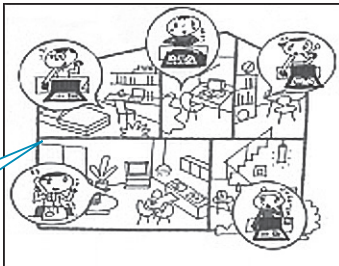
同時開催 特別講座

知って得するまめ知識 「快適ブロードバンドを楽しむための宅内LAN」

新築には

インターネット配線が
必須!!

テレビをネットにつなぐだけで、映画や音楽、視聴者参加型番組が簡単に楽しめちゃう!!他にもいろんなことが出来るのね。



■建ててから分かる失敗。
スイッチ・コンセントではよくある話ですが、宅内LAN(インターネット配線)は致命的。これからのデジタル時代に対応した、宅内LAN配線をご説明。

宅内LANって必要?



インターネットは無線LANでいいと思ってい
ませんか?テレビもネットにつなぐ時代。3年
後に迫る地デジ対策教えます。

【次回以降予告】 第4回 一室複数灯での手法 — 攻略編③ 「部分照明×部分照明手法」

●日時:平成21年 1月15日(木) 19:00~21:00 ●場所:未定

※4回目以降の案内・申込は、月刊『家』等にて行います。

- 第3回ホームライティングセミナー 参加締め切り：11月28日(金)
- 申込み先：大津支部事務局 石倉工務店内 FAX:077-527-3764 までよろしくお願い致します。

(社) 滋賀県建築士会 大津支部青年部会主催 「第3回ホームライティングセミナー」申し込み用紙

お名前	会社名	連絡先(携帯等)	ご住所	支部名	会員・会員外
				支部	
				支部	
				支部	
				支部	

お申し込みはFAXにて・・・大津支部事務局 石倉工務店内 <FAX.077-527-3764>

大津支部

平成20年10月12日(日)
大津祭

今年は、大津祭り曳山の綱を引きました。

大津支部青年委員会にて大津祭りに参加し、始めはどうなることかと思いましたが、あれだけ大きな曳山を引くので少し緊張気味でした。

曳山は、狛師町 神功皇后山(じんぐうこうごうやま)でした。

朝8時に、狛師町自治会館に集合し、清め一杯を頂き曳山のスタートです。まず、13基が天孫神社に集合し祭り開催待ちです。



いよいよスタートです。天孫神社前より琵琶湖方向に向かい中央小学校前を通っていきました。途中からくり人形のお披露目が数ヶ所あり、子供たちの『ちまきちょうだい』『ちまきちょうだい』の音が響きます。湊町付近で少し休憩して、電車道坂を登ります。(ここがなかなかつらかったです)商店街を抜け、中町通りを通り中央大通りで13基が揃いました。ここでお昼休憩(かなりつかれました)すこしお酒を頂きパワーを充電し昼からのスタートです。玉屋町、狛師町、鍛冶屋町を通り中央大通りを抜け京町通り、中京町、上京町、ここから最後の大坂登りがスタートします。松屋町通りまで登ります。(すごく手足腰力がいらいます)松屋町通りをゆっくり通り大津駅前まできました。もうあたりは暗くなり祭りもクライマックス、寺町通り商店街2階から『ちまきちょうだい』『ちまきちょうだい』またまた子供たちの声が響きます。

いよいよ商店街も最後、交差点にはいりました。(おう何かがはじまるぞ)大津祭りクライマックス大回転、大回転、大回転、感動、感激しました。

大技も大成功!大成功!!大成功!!!

関係者のみなさま本当にありがとうございました。

こんな素晴らしい祭りぜひ来年も参加したいです。



湖東支部

世界遺産のまちサントドミンゴ
(Santo Domingo)

私は今 JICA (財団法人国際協力機構) のシニア海外ボランティアとしてここドミニカ共和国 (República Dominicana) の首都サントドミンゴ (Santo Domingo) で2年間滞在することとなった。

サントドミンゴはコロンブスがアメリカ大陸発見時最初に上陸したまちで、その後ここを拠点に植民地政策を展開していくこととなっ

た。そんなこともあって植民地時代の面影を残す多くの建物がここ旧市街といわれる一角に集中し、今も当時の面影を残している。コロンブス(スペイン語ではコロンの)がその子孫も含め3代に亘って住みついた。彼にとって終のすみかとなったのである。



発展著しい新市街と区別してここはゾーナ・コロンの(Zona Colón)と呼ばれ、1990年にユネスコの世界遺産に指定され、多くの観光客を魅了する。また、ドミニカ共和国の唯一の世界遺産でもある。

コロンブス公園 (Parque Colón) にある有名なコロンブスの像である。彼が指差す方向はもちろんアメリカ大陸である。

湖北支部

交流バス旅行、
鉄骨構造勉強会を開催

9月12日(金)10時~12時 大通寺太鼓楼修復工事見学会が行われました。太鼓楼は長浜市指定有形文化財で平成19年から21年の3カ年をかけて修復工事が行われています。当日は工事現場の関係で20人の募集でしたが、22人の参加がありました。長浜市教育総務課文化財保護センターの二宮氏と工事施工業者、幸督興業の中村社長(当支部会員)の説明があり貴重な骨組・架構など間近で見られ貴重な体験が出来たと思います。また、大通寺の江戸時代につくられた枯山水の庭園(含山軒)も見学でき、2時間という短い時間でしたが充実した見学会が行えたと思います。(大村 修)



■見学会のお知らせ

ライト建築と神戸の町並み探訪

今回の研修旅行は、20世紀建築の巨匠の一人、旧帝国ホテルの設計者である、フランク・ロイド・ライトの作品で、日本で建築された、住宅の中で建築当初の姿をそのまま保っている唯一の作品で国の重要文化財の指定を受けているヨドコウ迎賓館(旧山邑邸)と、ライトの愛弟子「遠藤新」の設計による「東の帝国ホテル、西の甲子園ホテル」と並び称され超一流ホテルとして建設された、ライトの意匠を継承する独創的な建築 甲子園会館(旧甲子園ホテル)の二つの作品を見学し、そのあと神戸の町並みの散策をします。

- 対象：湖北支部会員 同賛助会会員
- 日時：平成20年11月19日(水)
- 定員：35名

●お問合わせ：古川工業(株) 古川政博 TEL0749-74-3075
タイムスケジュール・参加費等詳細は10月中旬はがきにて案内を出しております。ご確認ください。

11月の暦

1	土	先勝	青年部 家族親睦旅行	10	月	仏滅		21	金	先負	
2	日	友引	●青年部事業 「建築士を目指す学生と語ろう」 ●女性部会役員会	11	火	大安		22	土	仏滅	女性部会 Doシリーズ No.50 研修会
				12	水	赤口					
				13	木	先勝	●三役会 ●三役、委員長会議				
3	月	先負		14	金	友引		23	日	大安	
4	火	仏滅		15	土	先負		24	月	赤口	
5	水	大安		16	日	仏滅		25	火	先勝	
6	木	赤口		17	月	大安		26	水	友引	
7	金	先勝		18	火	赤口		27	木	先負	
8	土	友引		19	水	先勝		28	金	大安	
9	日	先負		20	木	友引		29	土	赤口	
								30	日	先勝	

新入会員 ご紹介

支部	氏名	住所	氏名	住所
大津支部	柿本 淳	大津市		
湖南支部	守里 太佑	守山市		
甲賀支部	石井 正樹	甲賀市	一刈 健	野洲市
	佐治 隆嗣	甲賀市	安村 弘美	甲賀市
湖東支部	藤村 亮介	東近江市		
湖北支部	澤 昭彦	長浜市		

平成20年度 10月理事会承認分

月刊「家」インフォメーション

「建築士等を対象とした超長期住宅関連及び改正建築士法の概要について」 の講習会にて提出のあった質疑に対する回答

平成20年9月30日(火)に開催いたしました上記の講習会にて質疑書の提出がございましたのでホームページにて回答を掲載させていただいております。ご覧ください。

(社)滋賀県建築士会 URL <http://www.kentikushikai.jp/>

滋賀のヴォーリス建築

安土郷土館(安土町小中191)

安土駅から歩いて行ける距離にあり、近くには、沙沙貴神社の緑が建築当時の伊庭邸周辺の林を想像させる。敷地の間近には大きな道路もなく、車の横行する嫌な雑音もあまり気にならないところである。足を伸ばせば安土城考古博物館、文芸の里、安土町跡をメインに見所たっぷりのゆったりした場所にある。この建物は、安土町が昭和54年に買取り(安土町指定文化財)、郷土館として使用されていたが、そこに至るまではかなりの変遷があった。

まず、昭和12～15年にアトリエスタジオから、生活する場所として室内の1階部分に和室が設けられ、昭和30年代に地元の呉服商(小蝶さん)が、空家となっていたこの建物を買い請け、住宅及び商売の為に呉服展示場として活用されていた。この時に、玄関の位置が西の現在の場所に変更されたと考える。

昭和54年に当時の小杉町長の熱意で買取りが決定し、買収補修費集めにも町当局が奔走されたという。建物外観は、急勾配の三角屋根や煙突とハーフティンバーが特徴的な和洋折衷の建築である。庭も広く、当初アトリエとして使われていたことをうかがわせる木々が美しい。

建物自体は、数回の改修が行われたが、まず部屋の数の多さに驚かされる。和洋室がうまくマッチし、四季折々の襖絵や杉板絵の引き戸、シャンデリア、暖炉等、ロマンを感じさせてくれる。(石井和浩)